



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

希望記事

「希望記事」の中に『睡眠』について取り上げてほしいというのがありました。私も同感です。是非お願いします。

先号の希望を受けて、来年度、『Health』のコーナーで睡眠をテーマにした寄稿記事を掲載する予定です。ご期待ください。

老後に向けて家の改築、改修を考えていますが、バリアフリーなどの、実例や、注意点を取り上げていただきたいと思っています。

今年度の協会事業として、『くらしを豊かにするハンドブック マイホーム編』を発行しており、その中で家の改築・改修についても触れています。

やや後ろ向きですが、ちょっと残念な老後（退職後）なんてどうでしょうか。おもしろいと思う成功例ではなく、満足が得られる人生を作っていくために、先達の失敗を学びたいと思います。

「残念なケース」を提示して、それを反面教師として学んでいただくという手法は『Health』や『Economy』で過去多く使われています。退職後の具体的な生活についても失敗例を提示可能ですが、実例を挙げるのは生々しすぎるので、架空の事例として、しかも成功例との対比で紹介する形が適切かと思われます。

・多重債務となり職場を去る人を見かけます。①多重債務になる人の心模様（なぜ）②職場で噂が出た人のアドバイス③多重債務から立ち直った経験談 等を取り上げていただきたい。
・相変わらずオレオレなどの振込み詐欺などが多発しています。消費者契約法も一部改正され消費者にとってはいいことですが、そうした法の改正によるポイントなどを例示してもらいたい。

今年度の協会事業として、『くらしを豊かにするハンドブック カード・ローン利用編』の発行を予定しており、その中で多重債務への注意点などについて言及する予定です。

・平日勤務後の時間の使い方。特に、独身の職員の生活について知りたい。わりと、時間をもてあましてしまっているの。

今号で松戸市役所の職員の方とライブプラン座談会を行いました。偶然ですが参加者全員が「夫婦子供二人持ち」でした。同様の座談会の再企画は未定ですが、独身者限定で開催して、その中で自分時間の使い方を紹介すれば、ご希望に添う情報が得られるかもしれません。

・年金のこと（制度が良くわからない、これからどうなるのか知りたい）（他同意見一名）

年金制度の改正内容が固まった時点で、『Topics』などのコーナーで紹介したいと考えております。

・退職後の地域の自治活動や町内会活動の実践事例を、ご紹介いただきたい。

自治会活動ではないのですが、次号（二月号）で地域の活性化に取り組む社会起業家による寄稿記事を掲載予定です。参考になるかもしれません。

・今回のインフルエンザの記事を見て、健康医学関係の記事があるといいなあと思いました。たとえば、マスクを睡眠時に着けるといとか、胃腸薬の正しい飲み方とかそんな日常の健康について教えてもらえる記事があるといいです。

食事や手軽な運動については毎号掲載していますが、その一環としてご指摘のテーマを取り入れた連載を行うことは可能かと思えます。よい執筆者を見つけてるのが条件ですが、検討したいと考えております。

・冬場にもう一度インフルエンザについて取り上げて欲しいと思います。

インフルエンザについては、最盛期である冬場に紹介するのでは遅すぎる、という思いからあえて角田先生に依頼して一〇月号での掲載といたしました。ご理解をお願いいたします。

・日本の伝統文化のひとつである「祭り」について、特に地域に根付いた「元気になる」「元気を与えてくれる」ものを紹介してほしい。(後略)

当面ALPSのコラム等での祭りの紹介は計画しておりません。ご了承ください。なお今年度の協会事業として、「くらしを豊かにするハンドブック 地域文化伝承編」を発行しており、その中で祭りを紹介しています。

・リレー形式で、通信員おすすめのレシピ(自慢の家庭料理、メタボ解消、簡単おやつなど)の紹介があればおもしろいのではないかと思います。

現在巻末で「我が家のペット」を掲載していますが、ペットに限らない自由テーマで通信員の方からの投稿を紹介してゆく方法も検討に値すると思います。

・政権が変わってどれくらい社会が変わるのだろうか、公務員と社会の関係は、自分の仕事との関係は、などなど気になっている方が多いのではないだろうか。変えなければならぬこと、変えてはならないのは何か、その判断基準(機軸)は?(後略)

・民主党政権となって、地方自治体にどのような変化の兆しが見られるか。各自治体担当者のレポートなどによる記事が面白いのではないだろうか。

・政権選択の選挙で、日本国民の多くは大きく変化を求めました。いわゆる一般の常識で物事を考えるのではなく、発想の転換をしなければならぬ時代が来たと思います。(中略)ぜひ、専門家のお話を聞きできる記事をお願いいたします。

政権交代関連のご意見が複数ありました。政権交代により地方公務員の仕事や社会保障制度が大きく変わる可能性があることを考えれば、政権交代とライフプランが無縁であるとは言えませんが、現段階では変革の内容が見えませんが、ALPS編集部としては安易な推測をせず、方針が決まったものについてライフプランに及ぼす影響を考え、記事として反映させる方針です。

その他ご意見

・「注文の多い妻」は納得する内容が多く、楽しく読めました。多くの奥様に読んでいただきたいです。同じような記事ができればまたお願いします。

・「注文の多い妻」は、日頃の夫婦生活を思い出しながら読ませてくださいました。まだまだ始まったばかりであるため、参考にして円満な夫婦生活にしたいと思います。

・「注文の多い妻」の記事は大変参考になりました。男性と女性の違いが的確に分析されていて、私(男性)も「当たってる」と思いましたし、女性職員も同様の感想でした。男女の考え方の違いを認識し、お互い一歩譲って生活するのが夫婦円満の秘訣かもしれませんね。(他同様意見多数)

小林先生の連載は二回ともに大好評であり、また多くの感想が寄せられました。夫と妻の考え方の違いを分かりやすく示した部分が共感を呼んでいると思われまます。

・「大切な人のいのちを守ることができませんか」が勉強になりました。自宅の家具の転倒防止はしてありますが、子供は学校にいますし、気をつけなければならぬことが多くあると感じました。

小田さんの寄稿記事はNPO活動の紹介が主眼ですが、地震対策の知識としても役に立つものだと思います。

・ハルビンの日本人教師をとっても興味深く拝見しました。定年退職、又は早期退職後のことを考えると、第二の人生として自分なりに備えていなければならぬ素養が必要だと思います。(他同意見一名)

・「再任用を通じて感じたこと、考えたこと」は、定年退職後の過「し」方を考える上でとても参考になりました。再任用職員はこれからますます増えていくと思われれますので、他の方の記事も取り上げていただきたいと思っています。

一〇月号では定年退職後の過「し」方として二つの記事が掲載されました。それぞれ参考になれば幸いです。今後も追求してゆきたいテーマですので、ご執筆頂ける方は是非ご連絡をお願いいたします。

・今回は今までにないテーマが盛りだくさんで感動しました。特に「お産を考える」では、自分の長女も四〇歳、初産を二二年四月に控えてとても不安です。今号の初産年齢の高齢化はまさに現実そのものが家のこととして受け止め、長女にとっても良い参考書となりました。しっかりと大切さが伝わったところです。現状を踏まえて自分なりのスタンスのとり方を改めて自覚したようです。無事の出産を願いつつ、このテーマを提供いただいたことに感謝しております。

・お産の記事を読んで、産科医の厳しい現実が伝わってきました。私たち患者の側も医者に行けばなんでもしてくれるという感覚でなく、医者も人間で限界があるし疲れもたまっているということを考えて行かなきゃなあと思いました。

・今回の「お産」を考えるは、三〇代の私にとって、とても勉強になる内容でした。(後略)

お産の取材記事は、我々にとっても勉強になりました。「自分が子供を産みたいと思った時が生み時です」という松原教授の言葉が印象に残っています。

・毎号とても楽しみにしております。特にライフプランや健康関係の記事は家族で回覧するほど良い情報が詰まっています。おかげでより良い生活が送れそうです。

・モニターになって毎月読み始めたらくとも面白いです。周囲の人に薦めています。夫にも読ませたいです。

ご家族はじめ周囲の方にALPSを広めていただき、ありがとうございます。

・今話題になっていること。読者が興味あることを察知して記事にされているのが良くわかります。一八年度からアンケートにお答えしていますが、確実に改善・充実されています。編集に携わっている皆様が努力されているからこそと思います。今後も楽しみにしております。

ありがとうございます。これからも頑張ります。

・仕事柄、インフルエンザ、特に今回のシリーズ感染症は興味深く読ませていただきました。介護保険業務に携わっている私としては、特に新型インフルエンザが入所者などに感染した場合、その対策や通所施設などの業務をどうするかなどの事業継続計画は、非常に重要な課題です。(中略) 今後はやはり施設などでよくみられるノロウイルスによる感染症なども取り上げていただけたらうれしいです。

十二月号の記事はノロウイルスがテーマとなりました。今回もご参考になれば幸いです。

・体重を減らすため、あまり食事制限をしないでウォーキングや水泳で頑張っているところです。そのため「腹やせウォーキング」の極意(第一回)がとても参考になりました。第二回も期待しています。

今号の第二回はいかがでしたでしょうか。次号もご期待ください。